

記者発表資料

利根川右岸の首都圏氾濫区域堤防強化対策工事において「フレームワークモデル工事」による工事発注を試行します。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、技術者の確保や労働力、資機材の調達が困難である等の工事内容や地域特性を踏まえ、競争参加者が少数と見込まれ、技術的難易度が比較的低い工事について、受発注者双方の施工体制確保を図る必要があることに鑑み、該当する複数の工事（フレームワーク）について、予め参加希望者の意思を確認し、施工能力を審査した上で、特定工事参加企業名簿を作成、その中から複数の工事参加者を指名する「フレームワークモデル工事（総合評価落札方式）」を試行します。

今回公表する案件に係わる発注予定情報の公表及び参加意思表示等の申請受付については、利根川上流河川事務所ホームページ及び事務所掲示板にて公表しています。

- ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo_index049.html

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会

お問い合わせ先

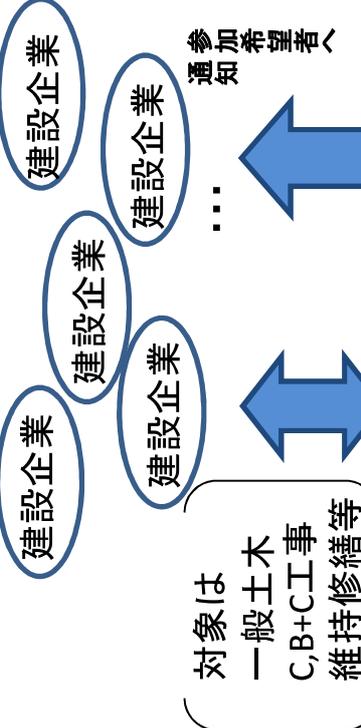
国土交通省 関東地方整備局 利根川上流河川事務所

副 所 長 おぶち やすまさ
 小 淵 康正
工務第一課長 さかい ひろゆき
 酒 井 弘之

電話番号 0480-52-3955

フレームワークモデル工事(総合評価落札方式)の試行について

- 【メリット】
- ✓ 施工体制確保→見通し可能な発注計画の公表
 - ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
 - ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
 - ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上



おおよその発注見通しの公表
(箇所数、工事箇所、入札時期、概要等)

工事参加希望の意思確認
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

特定工事参加企業名簿の作成
(書類の記載内容及び施工能力審査の上作成)

工種、等級毎に作成

発注計画の公表
(工事規模、入札時期、落札方式等)

指名基準による選定

個別案件の発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価落札方式の手続きと同様

指名競争・総合評価落札方式により落札決定

標準点100点+加算点(10点)+施工体制
評価点(30点)÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績

フレームワーク企業の選定

一定期間内の発注計画

災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上